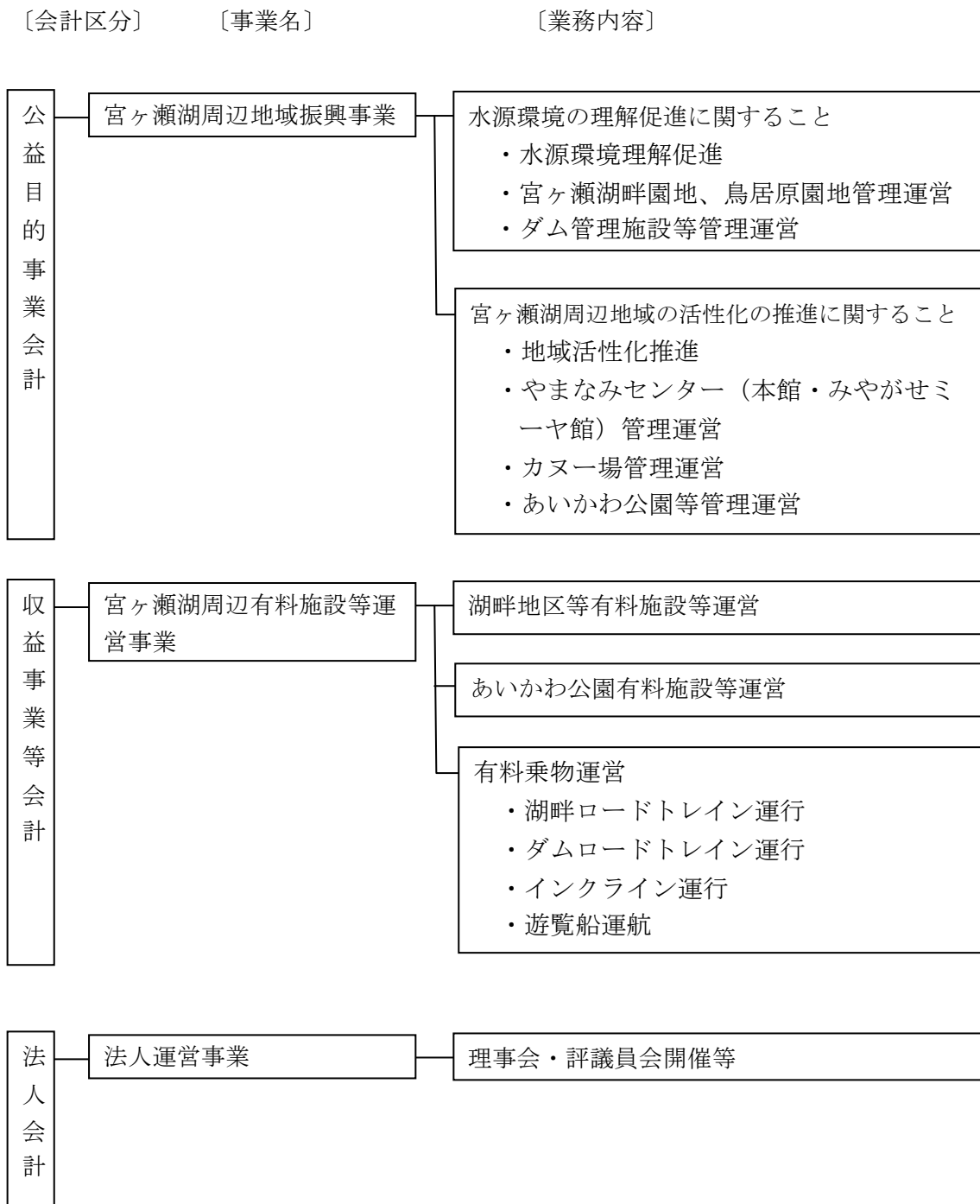


平成30年度
事業計画書

公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団

事業体系図



目 次

I 事業基本方針	1～2
1 公益目的事業	
2 収益事業等	
3 法人運営事業 (関連事業の状況)	
II 事業計画	3～11
1 公益目的事業	
(1) 宮ヶ瀬湖周辺地域振興事業	
① 水源環境の理解促進に関すること	
○ 水源環境理解促進	
○ 宮ヶ瀬湖畔園地、鳥居原園地管理運営	
○ ダム管理施設等管理運営	
② 宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化の推進に関すること	
○ 地域活性化推進	
○ やまなみセンター(本館・みやがせミーヤ館)管理運営	
○ カヌー場管理運営	
○ あいかわ公園等管理運営	
2 収益事業等	
(1) 宮ヶ瀬湖周辺有料施設等運営事業	
① 湖畔地区等有料施設等運営	
○ 有料駐車場	
○ ピクニック広場	
○ みやがせミーヤ館売店	
○ 水とエネルギー館飲食・喫茶	
○ 望遠鏡・自動販売機	
○ セグウェイ	
○ ^新 グラスライダー	

② あいかわ公園有料施設等運営

- 有料駐車場
- 自動販売機
- 工芸工房村飲食

③ 有料乗物運営

- 湖畔地区ロードトレイン
- ダムサイト地区ロードトレイン
- インクライン
- 遊覧船

3 法人運営事業

- 理事会・評議員会開催等
- 企画・計画及び調整事業
- 日本版DMO及び中長期経営計画の推進
- 経営戦略会議による経営改善
- 人材力、防災・危機管理体制の充実、強化

Ⅲ 施設の概要、宮ヶ瀬湖周辺イベント開催計画集計表（参考） ----- 12～15

平成30年度事業計画

I 事業基本方針

当財団は、平成4年10月1日に発足し、その後、公益法人制度改革に伴い平成23年10月3日に公益財団法人に移行しており、認定を受けた公益目的事業である県民の水源地環境に対する理解促進及び宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化の推進等を着実に実施しながら、宮ヶ瀬湖周辺地域の振興と発展を図っていくことを事業基本方針とする。

水源地域のさらなる自主的・持続的な振興と発展を図るため、国・県・地元市町村・地元住民・企業・団体・NPO等との連携を強化し、豊かな自然環境や地域の特色を生かした自然体験教室、水源地ツアー、季節の特色に応じて実施するみやがせフェスタなどの地域活性化イベント、カヌーなどのスポーツ振興イベントなどを通じて、宮ヶ瀬湖畔エリア、鳥居原エリア、ダムサイト・県立あいかわ公園エリアの三地区の拠点施設を中心に、計画的に事業を展開する。

平成27年3月の圏央道相模原インターチェンジ共用開始に伴う交通アクセス向上、広域圏からの来訪者動向や、2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けたスポーツの関心ニーズの高まりなど財団を取り巻く環境にも大きな変化がある。

県では、財団の取組みを支援し、宮ヶ瀬湖周辺地域の新たな観光地域づくりを推進するため、平成28年度から30年度までの3年間を計画年度とする「宮ヶ瀬湖周辺地域活性化計画」(地域再生計画)を作成し、地方創生推進交付金や地方創生拠点整備交付金を活用した事業を行っている。

こうした中、財団では、平成29年度は、宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化や水源地環境理解促進に向け、遊覧船のリニューアルバージョンアップやセグウェイの導入、レイクスポーツフェスティバル、日本版DMO^{※1}候補法人登録記念シンポジウム、クリスマスキャラバン隊などの新たな取組みを行った。さらに、当財団は、平成29年11月28日に、宮ヶ瀬湖周辺地域における観光地域づくりの舵取り役となる「日本版DMO法人」として観光庁に正式登録された。

今後、当財団は、これまでの指定管理事業等の着実な推進に加え、新たに宮ヶ瀬湖周辺地域の市町村をまたがる地域連携DMO^{※2}として、多様な関係者との連携・協力の熟度を高め、一層のマネージメント力を発揮していく必要がある。しかし、一方では、新たな事業展開に向けた人員体制や収支構造は、引き続き、厳しい状況が続いている。

そこで、平成30年度は、宮ヶ瀬湖周辺地域の更なる魅力アップや、広域性を生かした地域での受入環境の充実を図るため、事業者や地域がWin-Winの関係を構築できるモデル的な地域連携事業の実施、情報発信力の強化、楽しめる環境づくり、水源地域の環境を活用した健康づくりの推進など、多様な関係者の参画・連携を図った地域活性化や水源地環境理解促進の事業に取り組む。併せて、これら事業を支える財団の体力強化を図るため、新たな事業に備えた人員配備や人材育成、県立あいかわ公園の次期指定管理の確実な受託準備、事業の計画的執行など、事業内容の一層の工夫・改善による効率的な運営に取り組む。

※1「日本版DMO」：観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役、多様な関係者と協働し観光地域づくりを実現するための戦略策定、実施するための調整機能を備えた法人 Destination Management/Marketing Organization

※2「地域連携DMO」：市町村をまたがる区域を対象とするもの。他に都道府県をまたがる広域連携DMO、単独市町村単位の地域DMOに区分

なお、会計としては、公益目的事業会計、収益事業等会計及び法人会計に区分して、次のとおり事業を実施することとする。

- 1 公益目的事業は、豊かな自然や宮ヶ瀬湖周辺地域の特性等を生かしながら、地域の活力を引き出し、魅力ある地域づくりを進めるため、県民の水源環境に対する理解を促進し、宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化の推進を行うことにより、宮ヶ瀬湖周辺地域の振興と発展を図る。

水源環境の理解促進については、宮ヶ瀬湖憲章の基本理念に基づき、宮ヶ瀬湖周辺地域の豊かな自然環境の保全と秩序ある利用の促進を図るため、NPO法人、民間企業等と協働するなどして、自然体験教室など様々な水源地域の保全及び理解促進事業などを実施することにより、水源地域の大切さや自然とのふれあいの大切さなどについて理解を促進する。

宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化の推進については、水源地域の一層の活性化を図るため、三地区の拠点施設を中心に、DMOエリア^{※3}内の豊かな自然資源や伝統工芸などの地域資源を活用した魅力ある様々な取り組みを実施し、広域的な観光客等来訪者の増進により、地域の活性化を図る。

※3DMOエリア：相模原市の一部（緑区根小屋、長竹、青山、鳥屋）、厚木市の一部（飯山、七沢）、愛甲郡愛川町及び清川村の全域

- 2 収益事業等は、財団経営基盤の強化及び公益活動を充実するため、宮ヶ瀬湖畔地区等有料施設の運営、あいかわ公園有料施設の運営、有料乗物の運営、みやがせミーヤ館の売店運営を行う。
- 3 法人運営事業は、財団運営に関し、重要な事項を議決するため、理事会、評議員会を開催するとともに、宮ヶ瀬湖周辺地域の環境保全、施設の活用及び地域活性化の推進を図るため、企画、計画及び調整を行う。

（関連事業の状況）

宮ヶ瀬ダムは、建設省（現国土交通省）が昭和44年に計画を発表して以来、31年の歳月を経て、平成12年度に完成した。

このダムの管理は、平成13年度から相模川水系総合運用が本格稼働されており、洪水調節、水道用水の供給、水力発電等の多機能管理によって、水資源の有効活用がはかられている。

平成14年8月からは、高水位洪水吐から、高低差70m、1秒間に30m³の観光放流が定期的に行われており、ダムサイト地区の観光に大きく貢献している。

なお、平成4年4月に関係機関で合意された「宮ヶ瀬ダム貯水池周辺地域整備基本計画」による3拠点地区は、国、県、町村の役割分担による計画的な整備事業が進められた。

宮ヶ瀬湖畔地区は、平成11年度から全部供用、鳥居原地区は、平成12年度から一部供用後、平成16年度から全部供用、ダムサイト地区は、ダム関連施設が平成11年度から全部供用し、県立あいかわ公園も平成21年度から工芸工房村を含めて全て供用が開始されている。

II 事業計画

1 公益目的事業

(1) 宮ヶ瀬湖周辺地域振興事業

豊かな自然や宮ヶ瀬湖周辺地域の特性等を活かしながら、地域の活力を引き出し、魅力ある地域づくりを進めるため、県民の水源環境に対する理解を促進し、宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化を推進することにより、宮ヶ瀬湖周辺地域の振興と発展を図る。

また、複数の市町村をまたがる「地域連携DMO」として、官民や市町村の垣根を超えた広域連携機能を発揮し、貴重な自然にふれあう機会と地域の観光資源を活かした取組を推進する。

① 水源環境の理解促進に関すること

平成10年4月29日に制定された「宮ヶ瀬湖憲章」の理念に基づき、宮ヶ瀬湖周辺地域の豊かな自然環境の保全と秩序ある利用の促進を図る。

事業に当たっては、NPO法人や民間企業との連携を図りながら水源環境の理解促進、地域住民と都市部住民の交流を促進する。

また、やまなみセンター運営事業や宮ヶ瀬湖畔園地、鳥居原園地管理運営事業などと併せて執行することで、より魅力的なものとする。

<業務内容>

○ 水源環境理解促進

・ 宮ヶ瀬湖憲章普及啓発

宮ヶ瀬湖周辺地域で活動するNPO法人、企業、学校等との連携や、各種イベント開催時のノベルティグッズの配布などにより宮ヶ瀬湖憲章の普及・啓発に努める。

・ 環境保全企画

自然豊かな宮ヶ瀬湖周辺地域で様々な自然体験活動を通し、水源環境の大切さや水源地域の理解を深める。

また、園地において、各種助成制度を活用した事業の充実を図りつつ、NPO法人、学校等による植樹、下草刈、清掃活動を推進し、水源環境の保全を図るとともに、機材の提供や森林インストラクターの派遣と併せコーディネートを行う。

なお、事業実施にあたっては、宮ヶ瀬湖周辺3拠点、相模原市緑区、厚木市飯山・七沢などのDMOエリア内で活動するNPO法人、地域団体、学生等と連携・協力による事業実施や各種観光資源との連携に向けた取組を推進する。

自然観察会の実施

みやがせ花の日の開催

来訪者等との連携による水源環境の保全・促進

都市部に「もみの木」等を展示し、地域と都市部住民との交流促進

- ⑧ (仮称) 宮ヶ瀬湖周辺自然ガイドツアー企画会議の開催及びツアー実施
DMOエリア内で活動する地域人材と連携・協力し、自然観察や環境学習に併せ、観光資源も活用した自然ガイドツアーを企画・実施

○ 宮ヶ瀬湖畔園地、鳥居原園地管理運営

平成 28 年度から県立宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地条例に基づく指定管理者となり、「県民に自然とのふれあいの機会を提供し、もって県民の保健、休養及び自然環境への理解並びに宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化に資する」ため、次の業務を行う。

- ・ 宮ヶ瀬湖畔園地、鳥居原園地の施設及び設備の維持管理の計画的な実施、管理運営に利用者・地域住民の意向を反映、剪定した枝や刈草を堆肥として活用するなど環境への配慮
- ・ 地域の自治体、NPO法人、企業等と連携した地域活性化や水源環境理解促進に向けたイベントの開催（体験教室、生き物観察会等）
- ・ 利用料金施設である野外音楽堂や小中沢駐車場の利用促進
- ・ 自然豊かな園地の環境を活かした各種スポーツ、イベント、体力づくりなど未病、健康増進対策の推進

○ ダム管理施設等管理運営

国土交通省が基盤整備し、宮ヶ瀬湖をとりまく観光拠点の一つとして一般開放されている宮ヶ瀬ダム本体周辺諸施設の適正かつ有効な運用を図るため、国土交通省相模川水系広域ダム管理事務所から業務を受託する。

また、宮ヶ瀬湖周辺の巡視業務をする湖岸巡視や湖面巡視は、ダム湖岸及び湖面を定期的に巡回し危険箇所への侵入者や工作物の破損、不法投棄や浮遊物の発見など、周辺の状況を管理者へ報告するとともに、各施設への出入りゲートを管理し、主に次の業務を行う。

- ・ 宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館の管理運営
 - 県内小学校への「団体見学案内」PR強化
 - 水辺のコンサート等活性化イベント開催
- ・ ダム堤体周辺施設巡視点検の充実
- ・ 湖岸・湖面巡視点検
 - ⑧湖岸巡視用モーターボートのエンジン更新
- ・ ダム周辺ゲートの管理
- ・ 労働安全衛生・事故防止対策の充実

② 宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化の推進に関すること

平成 27 年 3 月の圏央道「相模原インターチェンジ」の開通や隣接する相模原市内にリニア新幹線関東車両基地の計画が発表されるなど、周辺を取り巻く環境は大きく変化を遂げようとしており、広域圏への対応強化や東京オリンピック・パラリンピック開催に伴うスポーツ熱の高まりなど新たな環境の変化やトレンドを捉えた広報戦略や事業展開を図る。

宮ヶ瀬湖周辺の交通状況変化に伴う来訪者動向を把握するとともに、豊かな自然資源や伝統工芸などの地域資源を活用し、3 拠点の連携を図りながら魅力ある取り組みを進めることで地域の更なる活性化を推進する。

また、複数の市町村をまたがる「地域連携DMO」として、官民や市町村の垣根を超えて、広域的な調整機能を発揮したモデル的な地域連携事業などの取組を推進する。

<業務内容>

○ 地域活性化推進

宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化を図るため、四季を通して 3 拠点の施設を中心に、地元商工団体、農林漁業団体、観光団体、民間企業及びNPO法人などの参画・連携の一層の推進を図り、次の事業を実施する。

- ・ 調査研究事業
宮ヶ瀬湖周辺に来訪者動向調査
- ・ ⑧地域連携DMOとして、モデル的な地域連携事業
旅行会社が企画する広域的なツアーへの協力
来訪者の周遊性を促進する地域クーポン券の検討
- ・ 多様な関係者と連携した事業
第 9 回宮ヶ瀬湖 2 4 時間リレーマラソン
宮ヶ瀬湖 3 拠点施設イベント
E ボート体験ツアー
宮ヶ瀬湖カヌースクール（親水池・宮ヶ瀬湖）
- ・ 実行委員として参画する事業
第 15 回あいかわ公園つつじまつり
水源地域活性化キャンペーン
- ・ 助成・後援・協力事業
第 33 回宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい
第 35 回宮ヶ瀬ふるさとまつり
第 10 回東丹沢宮ヶ瀬トレイルレース
第 31 回清川やまびこマラソン

第44回宮ヶ瀬湖マラソン大会
宮ヶ瀬ダムナイト放流

- ・ 宮ヶ瀬湖シャトルバス運行事業
来訪者の利便性を向上し、3拠点を結ぶ交通手段として、春、夏、秋の繁忙期に運行を実施
 - ・ 写真コンテスト開催
宮ヶ瀬湖及び周辺地域の美しい風景や人と自然のふれあいなどについて、写真を通して観光地宮ヶ瀬を周知するため、「第32回宮ヶ瀬湖水と緑のふるさと発見写真コンテスト」の実施
 - ・ 広報・啓発事業
宮ヶ瀬湖3エリアマップ、乗り物案内の作成
ゆるキャラカードの制作・配布
ホームページのリニューアル・工夫・充実
外国人観光客に向けたホームページや案内の改善
パブリシティの積極的な活用
都市部での定期的なPR活動
 - ・ 地方創生推進交付金を活用したアクティビティの充実
⑧新たなウォーターレジャーであるSUP^{※4}の導入
カヌースクール、Eボート体験ツアー、レンタルカヌー等と連携したレイクスポーツの振興 ※4 Stand Up Paddleboard 立ち乗りカヌー
 - ・ 第6回 宮ヶ瀬湖周辺活動団体等交流会
宮ヶ瀬湖周辺において、地域振興、環境学習、生涯スポーツ活動等を積極的に展開している団体等を対象にした情報交換や意見交換
 - ・ ⑧（仮称）宮ヶ瀬湖周辺DMO推進ネットワーク会議
地域連携DMOとして、継続して安定的に取組を推進する官民連携体制の構築
- やまなみセンター（本館・みやがせミーヤ館）管理運営
平成28年度から県立宮ヶ瀬やまなみセンター条例に基づく指定管理者となり、「水源地域の自然の保全及び活性化を図り、併せて県民に水源地域の自然とのふれあい及び多様な交流活動の場を提供する」ため、次の業務を行う。
- ・ やまなみセンター（本館・みやがせミーヤ館）の施設及び設備の計画的、効果的、効率的な維持管理実施
 - ・ 地域活性化や水源環境理解促進に向け、周辺自治体をはじめ地元観光協

同組合等と連携したイベントの開催（集客力のある大規模なもの、伝統工芸体験、自然観察会等）

- ・ 利用料金施設である研修会議室の利用促進、来訪者への休憩場所提供

みやがせミーヤ館の管理運営、地域観光情報等の一元提供によるワンストップ機能の実現、クリスマス期間等の夜間オープンによる来訪者サービスの向上

- ・ 総合案内・各種申請受付、自然観察・ガイド、クラフトコーナー、自転車の駅、子供の遊び場、授乳室などの提供

○ カヌー場管理運営

平成 28 年度から県立宮ヶ瀬カヌー場条例に基づく指定管理者となり、「県民にカヌー等に関する知識の習得及び技能向上の場を提供し、もって県民のスポーツ振興に寄与する」ため、次の業務を行う。

- ・ 平成 10 年の「かながわゆめ国体」会場として整備された「宮ヶ瀬湖カヌー場」の施設及び設備の計画的、効果的、効率的な維持管理
- ・ 利用料金施設である艇庫、会議室、研修室の利用促進
- ・ スポーツ振興を通して地域活性化を図るイベントを周辺 N P O 団体と連携して実施などカヌー競技人口増加に向けたカヌーに触れ体験できる機会の増大
- ・ 宮ヶ瀬湖畔園地内にある親水池での初心者向けカヌー教室等利用者が本湖での利用に繋がるよう一体的な取組の推進
- ・ カヌー場利用調整会議の開催(カヌー場の円滑、公平な利用調整)
- ・ 県のカヌー場浮棧橋の再整備に合わせて活用推進

○ あいかわ公園等管理運営

- ・ あいかわ公園管理運営

平成 18 年度から管理運営を行っており、平成 27 年度から 5 年間の指定管理者として年間来園者数 50 万人を目指し、施設及び設備の計画的、効果的、効率的な維持管理実施や利用促進を図る。

当公園は、宮ヶ瀬湖畔園地、鳥居原園地と並ぶ宮ヶ瀬ダム 3 拠点の一つであり、観光地型の管理運営と 3 拠点施設と連携したサービスの提供、充実を図るなどの事業を実施することで、ダムサイトゾーンの活性化と県民サービスの向上に寄与する。

また、県の施設整備に合わせて活用推進やパークコンシェルジュを配置し一層のサービス向上を図る。

さらに SNS 等による情報発信の強化や月ごとの季節イベントにより来訪者のアップを図る。

- ・ 工芸工房村管理運営

県立あいかわ公園と併せて指定管理者として指定を受けた工芸工房村は、地元愛川町の伝統工芸を広く県内外に紹介する情報発信拠点として、

創作体験を通じて来訪者と地域の交流を図る施設として、適正な運営管理を行う。

また、各種体験イベントを開催し、更なる利用促進を図る。

・㊦次期指定管理に向けた指定管理申請

県立あいかわ公園における指定管理期間満了に伴い、平成 32 年度から 36 年度までの次期指定管理に向けた準備及び申請を行う。

2 収益事業等

(1) 宮ヶ瀬湖周辺有料施設等運営事業

① 湖畔地区等有料施設等運営

○ 有料駐車場

平成 11 年 4 月から有料駐車場として自主運営を実施している。

また、平成 14 年 4 月からは、機械管理で営業を開始し、効率化を図るとともに、大型車両の利用も可能となっている。

平成 28 年度から県立宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地条例に基づく利用料金施設となっている。

引き続き事故防止に努め、安全・適正な維持管理や収益確保を行う。

○ ピクニック広場

来訪者が手軽にバーベキューを楽しめるよう、食材・燃料等の提供業務を地元宮ヶ瀬水の郷観光協同組合に委託して、業務を実施する。

なお、納付金として、売り上げの 7.35%を徴収する。

○ みやがせミーヤ館売店

みやがせミーヤ館において、宮ヶ瀬湖周辺地域の魅力をアピールし、来訪者サービス向上を図るため、売店（自動販売機含む）、遊具貸出などの事業を実施する。

- ・園地オリジナルグッズ等（カヤネズミ等をモデルにして開発）販売
- ・けやき広場での遊びの提案、遊具貸出

○ 水とエネルギー館飲食・喫茶

宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館レストランについては、運営を委託し、飲食や喫茶の提供業務を実施する。

なお、納付金として、売り上げの 7.35%を徴収する。

○ 望遠鏡・自動販売機

来訪者が景観を楽しむための望遠鏡の設置及び来訪者サービスのため、公園施設等に自動販売機を設置する。

○ セグウェイ

地方創生推進交付金を活用して、平成 29 年度に続き、平成 30 年度にセグウェイを追加整備する。

セグウェイ整備によるアクティビティの充実を図るため、宮ヶ瀬園地ツアーや体験乗車会を実施する。

○^新グラスライダー

地方創生拠点整備交付金を活用して、平成 29 年度に県が宮ヶ瀬湖畔園地内に再整備した首都圏最大級のグラスライダーを財団直営で運営する。

② あいかわ公園有料施設等運営

○ 有料駐車場

あいかわ公園の指定管理者として、引き続き事故防止に努め、安全・適正な維持管理を行う。

○ 自動販売機

来訪者サービスのため、公園施設等に自動販売機を設置する。

○ 工芸工房村飲食

工芸工房村に隣接した食堂で、運営を委託し、飲食物の提供の業務を行う。
なお、納付金として、売り上げの 5% を徴収する。

③ 有料乗物運営

○ 湖畔地区ロードトレイン

湖畔園地の移動手段や景観にマッチした観光乗り物として運行する。
なお、クリスマス期間は夜間運行を実施する。

○ ダムサイト地区ロードトレイン

ダム堤体とあいかわ公園を結ぶ移動手段や景観にマッチした観光乗り物として運行する。

○ インクライン

ダム工事用として、国土交通省が設置したインクラインの基盤を利用したケーブルカーで、来訪者のダム見学や上下間の移動手段として運行する。

○ 遊覧船

水と緑あふれる宮ヶ瀬湖の景観を多くの方々に楽しんでいただくとともに、3 拠点を結ぶ交通システムとして、地方創生推進交付金を活用し、平成 29 年度にリニューアルバージョンアップした遊覧船「みやがせ 21」を運航する。

3 法人運営事業

- 理事会・評議員会開催等
財団運営に関し、重要な事項を議決するため、理事会・評議員会を開催する。
- 企画・計画及び調整事業
宮ヶ瀬湖周辺地域の環境保全、施設の活用及び地域活性化の推進等を図るため、宮ヶ瀬湖周辺地域活性化懇談会を開催するほか、必要な企画・計画及び調整を行う。
- 日本版DMO及び中長期経営計画の推進
日本版DMO法人として、宮ヶ瀬湖の全国的なPR、多様な関係者と将来コンセプトの共有、各市町村境に位置する宮ヶ瀬湖周辺地域を一つのマネジメントエリアとした観光地域づくりを推進する。
また、財団の経営戦略である「中長期経営計画」を推進する。
- 経営戦略会議による経営改善
財団を取り巻く社会情勢、周辺環境、経営環境が大きく変化する中で、経営戦略会議を開催し、財団の目的及び時代要請に照らして実施事業を見直し、再構築し、経営改善を図る。また、職員参加による意欲向上を目的として部会を設置し、検討・改善を進める。
- 人材力、防災・危機管理体制の充実、強化
来訪者の安全対策向上や従事者の事故防止のための研修や専門知識取得のための支援等を実施するとともに、防災、危機管理体制の充実・強化により、来訪者のサービス向上を図る。
 - ・人材育成の計画的な実施
DMO推進のための人材育成、待遇、専門知識・技能研修、救命講習等の充実
 - ・労働安全衛生(リスクマネジメント)の実施
高年齢者に配慮した職場環境づくりの推進
インフルエンザ予防接種の費用助成
 - ・防災、危機管理体制の充実、強化
関係機関と連携した合同防災訓練、水難救助訓練の実施

施設の概要

○ 宮ヶ瀬やまなみセンター

- ・本館 土地 面積 4,000.00 m²
 建物 鉄筋コンクリート造 延床面積 1,311.48 m² 地上1階、地下1階
 施設内容 利用料金施設 研修会議室 1～3
 利用料金 1室1時間 300円
 その他 情報コーナー、展望ホール、事務室、
 シャワー室、展望広場など
- ・別館「みやがせミーヤ館」 土地 面積 1,200.00 m²
 建物 鉄筋コンクリート造 延床面積 870.10 m² 地上2階
 施設内容 事務室、クラフト、自転車の駅、
 子供の遊び場、自然観察など

○ 宮ヶ瀬湖畔園地、鳥居原園地施設

- ・管理運営面積 宮ヶ瀬湖畔地区 28.5 h a (集団施設地区 42.9 h a)
 鳥居原地区 5.4 h a (園地 10 h a)
- ・施設内容 宮ヶ瀬湖畔地区 利用料金施設 野外音楽堂 1時間 500円
 小中沢駐車場 (344台)
 その他 けやき広場、ビオトープ、園路、ピ
 クニック広場、カヌーロッジ、多目
 的広場、トイレ、こどもひろば、グ
 ラスライダーなど
 鳥居原地区 庭園、法面植栽地、日時計花壇、駐車場 (176
 台)、トイレなど
- ・小中沢駐車場 大型車 10台、普通車 334台 (24,670 m²)
 【料 金】 大型 普通車
 30分まで 1,500円 無料
 2時間まで 1,500円 300円
 2時間以上 1,500円 500円
 特別期間 2,000円 1,000円
 緑化協力金 一律1台20円含む

○ 宮ヶ瀬湖カヌー場

- ・土地 145,113.00 m² うち敷地面積 5,148 m²
- ・建物 鉄骨造 管理棟 延べ床面積 471.27 m² 2階建
 利用料金施設 会議室 1時間 1,320円
 研修室 1,2 1時間 200円
 その他施設 事務室、保健室、シャワー室
 鉄骨造 艇庫 1,039.60 m² 収容可能艇数 104艇
 艇庫利用料金 艇の長さ、期間ごとに設定
 カデ、イアンヌー及びカヤック 2時間 200～800円

- ・浮棧橋
- ・競技コース 1,000m、500m、200m 計 10 コース
- ・管理用ボート 4 艇（作業艇 2、審判艇 2）

○ あいかわ公園

- ・都市計画決定面積 53.5 h a
- ・開設面積 51.8 h a
- ・園路及び広場 中央広場、こども広場、入り口広場、ふれあい広場、風の丘、花の森、冒険の森、冒険広場、自然観察林
- ・修景施設 中央広場噴水池、パークセンター修景池、花の斜面
- ・遊戯施設 壁の迷路、コンビネーション遊具、巨大ツリー、ローラースライダー、ターザンライド、ふわふわドーム、じゃぶじゃぶ池、幼児遊具、砦遊具
- ・建築物
 - パークセンター（建築面積 947.88 m²）
 - 工芸工房村（建築面積 922.88 m²）
 - 体験メニュー 染色、機織り、紙漉、陶芸、木竹工
 - 郷土資料館（愛川町）
- ・駐車場 南駐車場（面積 19,572 m²）大型車 9 台、普通車 451 台
北駐車場（面積 11,140 m²）大型車 15 台、普通車 206 台

【利用料金】

前金制	1 回	大型車	普通車	二輪車
		1,500 円	500 円	100 円
		緑化協力金	一律 1 台 20 円含む	

○ エネルギー館飲食 1 階 200.54 m²

○ 望遠鏡・自動販売機（湖畔園地等）

- ・望遠鏡
 - やまなみセンター展望広場 2 基
 - ダム堤体展望塔 1 基
 - 料金 1 分 30 秒 100 円
- ・自動販売機
 - 宮ヶ瀬湖畔地区 11 台
 - あいかわ公園 9 台

○ 工芸工房村飲食 工芸工房村 1 階 53.46 m²

○ 宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館

- ・延床面積 2,480 m²
- ・施設内容 エントランスホール、展示室、レクチャールーム、事務室、駐車場

○ 宮ヶ瀬湖遊覧船

- ・船種、船名 遊覧船「みやがせ21」
 - ・総トン数 19トン
 - ・乗客定員 82人
 - ・運航日 土・日・祝祭日・観光放流日、ゴールデンウィーク、お盆
(10日間程度)
 - ・利用料金
 - 宮ヶ瀬～ダムサイト (片道) 600円 (往復) 1,000円
 - 宮ヶ瀬～鳥居原 (片道) 400円 (往復) 600円
 - ダムサイト～鳥居原～宮ヶ瀬 600円
 - 遊覧 (30分) 1,200円
- ※ 子ども料金は、半額

○ 宮ヶ瀬湖畔地区ロードトレイン

- ・車両 (ミーヤ号) 1台
- ・定員 81人
- ・走行距離 3.2km (みはらし広場～みはらし広場)
- ・利用料金 300円 (子ども 200円)

○ ダムサイト地区ロードトレイン

- ・車両 (愛ちゃん号) 1台
- ・定員 55人
- ・コース パークセンター～ダム下
- ・利用料金 片道 大人 200円 (子ども半額)

○ インクライン

- ・形式 つるべ型キャビン昇降式
- ・昇降行程 216m ダム上～ダム下
- ・定員 46名×2基
- ・駆動方式 電動機駆動ワイヤー巻掛式
- ・高低差 121m
- ・利用料金 片道 大人 200円 (子ども半額)
往復 大人 300円 (子ども半額)

平成30年度 宮ヶ瀬湖周辺イベント開催計画集計表

区分	宮ヶ瀬地区	ダムサイト地区	鳥居原地区	計	財団の主なイベント
4月	17	23	7	47	みやがせフェスタ春、つつじ祭り
5月	23	22	10	55	薪割り体験、Eボート体験ツアー
6月	15	24	5	44	苔玉をつくろう、宮ヶ瀬自然観察
7月	26	26	8	60	レイクスポーツフェスティバル
8月	20	22	7	49	宮ヶ瀬24時間リレーマラソン、カヌースクール
9月	19	25	5	49	みやがせフェスタ夏、カヌースクール
小計	120	142	42	304	
10月	16	22	6	44	アウトドアクッキング、カヌースクール
11月	19	27	14	60	みやがせフェスタ秋、宮ヶ瀬ガイドツアー
12月	13	27	5	45	宮ヶ瀬クリスマス、宮ヶ瀬ガイドツアー
1月	8	18	3	29	流木で〇〇つくろう
2月	10	16	5	31	和菓子でつくるバレンタイン
3月	11	21	3	35	アウトドアクッキング、椎茸体験教室
小計	77	131	36	244	
合計	197	273	78	548	

平成30年度宮ヶ瀬湖周辺イベント開催計画主催別内訳一覧表

区分	回数	内訳
公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺財団 主催のイベント	303	宮ヶ瀬地区 64回
		ダムサイト地区 234回
		鳥居原地区 5回
実行委員会及び団体等へのイベント	245	宮ヶ瀬地区 133回
		ダムサイト地区 39回
		鳥居原地区 73回

・上記のイベント集計数は、財団が主催又は実行委員として参画する事業となります。